

高梁市議会だより

第51号
2022年8月

6月定例会

物価上昇対策を審議

一般質問のYouTube配信を始めました



地域活性×梁商品券

令和4年6月9日から28日までの20日間、6月定例会が開催されました。

市長からは報告4件と議案9件が提出され、議案1件は承認、8件は可決しました。報告の4件は、各会計における繰越計算書の報告でした。また、追加で工事請負契約の締結についての議案が1件提出され、可決しました。

そのうち特に3件の議案については、各常任委員会の審査においても、いろいろな角度からの審議があり、どこまで執行部に情報開示を求めることができるのか、十分な説明がないのではないかとといった意見がありました。本会議の採決で賛成多数で可決しました。

なお、陳情が2件提出されましたが、いずれも不採択となりました。



6月定例会 / 議会と執行部の関係性を考える議会に

総務文教委員会

土地開発公社の廃止について賛否両論

総務文教委員会で審査した案件は5件であり、1件は承認、4件は原案どおり可決することに決しました。

「高梁市土地開発公社の廃止」について、議員からは「一年前に理事の規約改正があったばかりでの廃止には疑問を感じる。議案の提出が唐突すぎるのか。第3次行財政改革の中でも公社の廃止は掲げられているが、昨年の規約改正時には廃止を含めての検討との説明は受けていないのではないかと意見がありました。執行部からは、今後、公共事業が減少すること、土地の先行取得の必要性が無くなったこ

コロナ対策予算などを審議

産業経済委員会

困っている市民への新型コロナウイルス支援策

と、年間約7万円の経費節減が見込めることなど、公社廃止の理由として説明がありました。委員会では賛否が拮抗しましたが賛成多数で可決となりました。

産業経済委員会で審査した案件は4件で、全て原案どおり可決することに決しました。

「令和4年度高梁市一般会計補正予算」について、この補正予算の主な財源は、市に交付される国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。市民1人あたりの3000円の商品券配布のための9420万円、運送事業

者支援の2100万円、農業関連支援700万円、学校給食費原材料費補助830万円など、総額1億3380万円が計上されました。

そのうち農業関連支援の補助金700万円については特に質問がありました。この補助金は、令和3年に前年よりも20%以上減収した農業者（農業収入が全収入の50%を超える農業者）を対象に支援するもので、個人50件で計500万円、法人10件で計200万円を予定しています。

「米価の下落、肥料・飼料価格が高騰し、これからも不透明な状況が見込まれ、農業者はよりいっそう厳しくなる。高梁市の基幹産業を担っている農業者に対する補助金の設定が、低すぎるのではないか。」との質問が相次ぎました。

これに対して執行部からは、

「今後、申請過多となった場合には、追加の補正予算を検討したい。」また「市民全員に3000円の商品券を配布することが、農業者を含めた広く全体への支援になると考える。」との回答がありました。

物価高が、市民の生活に待たなしに大きく影響しています。状況を把握しながら支援を考えていくことを確認し、原案どおり可決しました。

市民生活委員会

新型コロナウイルス対策や2件の陳情を審査

市民生活委員会では、議案4件と陳情2件を審査しました。

「高梁市愛辰こども基金条例」は、市民からの8000万円の寄付金により、高梁市の子どもの成長と発達を応援するとともに、困難を抱えた

子どもの健全な育成と自立を支援するための基金を設置する条例です。執行部からは、寄付の申し出から基金設置に至る経緯や今後の運用方法について詳細な説明がありました。

賛成討論の中では寄付者への謝辞もあり、委員会では全員一致で可決しました。

「令和4年度高梁市一般会計補正予算（第2号）」では生活困窮者就労準備支援事業の予算が計上されていたことから、事業内容等について質問がありました。この事業は、派遣社員などの急な雇止めにより、寮などを退去した方に対して一時的に宿泊場所を提供するとともに、食事や日用品などの提供を行い、自立に向けた支援を行う事業です。これまで年間4件程度相談があったとの説明がありました。

陳情2件のうち、「子ども（0



市民生活委員会

反対討論
十分な説明を求める
川上 修一 議員

討 論 (要旨)

議案第61号「愛辰こども基金条例」については、この条例を提案される前に議会へ報告や説明があるべきで、議案審査でも質問に十分な答弁が行われず「執行部を信ずるか否か」が問われた。守秘義務は執行部も議会にもあると思う。賛否への判断材料が不十分であり反対する。議案第62号「土地開発公社の解散について」は、土地買収において所有者や相続者が不明など、調査や用地取得に時間や経費がかかる場合もあり、一概に経費削減とはいえず反対する。議案第64号「補正予算」のうち農業費については要望を行う。市の基幹産業は農業である。その中でも「メ農家は2200戸あり、市として、弱く苦しんでいるところへの支援を求める。

反対討論
国保税の増税に反対
石部 誠 議員

「国民健康保険条例の一部を改正する条例」について、国保加入の約50、80世帯の税負担が増額する。これにより国保財政への算入額が約120万円増える。現在の国保財政は5億円もの基金積み立てがあり、120万円の負担増が必要とは考えられない。むしろ引き下げすべきで反対する。

「子どもへのワクチン接種即時中止を求める陳情書」については、「行う」「行わない」は個人や家庭の判断に任されている。しかし、不安があるのは事実で、正確で丁寧な情報提供が今後必要である。「不正選挙防止に関する陳情書」については、陳情者の事実誤認があると考える。再調査の対応を求め、両陳情を不採択とすべきである。

賛成討論
愛辰こども基金は目的に沿った運用を
森 和之 議員

全ての議案に賛成の立場から討論する。議案第61号「愛辰こども基金条例」は、匿名を希望する市民から多額の寄付があり子どもの成長や発達、困難を抱えた子どもの健全な育成と自立が目的である。議会はこの寄付者の意向を酌み取り、市民の代表として目的に沿った運用を行うべきで、この議案には強く賛成する。

議案第62号「土地開発公社の解散について」は、昨年2名の理事増員を行ったばかりで、今回の解散は拙速ではないか。しかし、存在意義の低下や経費削減が目的で、今後も適切な執行が行われると信じて賛成する。2つの陳情は、陳情を求める事実の基礎・専門的な情報がネット上の情報だけであるのを考慮して不採択とすべきである。

6月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

議案番号	件 名	○：賛成 ●：反対 欠：欠席												
		金尾	平松	新倉	伊藤	森	森上	石井	石田	石部	三村	宮田好	小林	倉野
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第61号	高梁市愛辰こども基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第62号	高梁市土地開発公社の解散について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

賛成討論
農業者への迅速な支援を
求める
金尾 恭士 議員

全ての議案に賛成の立場から討論する。議案第61号「愛辰こども基金条例」は、市内篤志家から、子どもの成長と発達の援助、困難を抱えた子どもの健全育成や自立支援の目的で寄付を受けた。子どもの貧困やヤングケアラー等、子どもたちを取り巻く環境は厳しい現実があり、真摯に受け止め活用すべきである。議案第64号「補正予算」の臨時交付金については、物価高は市内のあらゆる方面に影響が出ている。特に農業は肥料や飼料、資材の急騰を農産物の販売価格に転嫁することができず、手厚い支援を求める。「子どもへのワクチン接種即時中止を求める陳情書」について、市はワクチン情報を保護者にしつかり提供することを望む。

議会全員協議会

新消防庁舎・子ども園・学校園再編

令和4年5月27日に、新消防庁舎の整備、高梁認定こども園の基本設計、学校園の再編に係る現状について執行部より説明があり、その後に質疑を行いました。

新消防庁舎の整備について

新消防庁舎の基本設計の途中経過の報告がありました。庁舎敷地の50cmかさ上げや防水板と防水扉による浸水対策や女性職員への設計上の配慮、また建設予定地が高梁市景観計画の歴史的町並み景観形成ゾーンであり、景観に十分配慮された実用的で、機能的な立面・平面図並びに外観図が報告されました。

高梁認定こども園の基本設計について

議員からは、立地による災害対策、女性職員への配慮、高額な移転補償費、事業費の高騰などについて質疑がありました。

学校園の再編に係る現状について

再編基準は、小学校の場合は全校で2学級以下、中学校の場合は1学年の生徒数1桁が継続的な状態である。現状で該当する学校はないが、今後も児童生徒数の推移を注視していく必要があると報告がありました。



**建築資材費等の高騰により
建築工事費は1・6倍に!?**

議員からは、利用者からの意見の取り入れ、定員と定数の在り方、障害児の対応、事業費の高騰などについて質疑がありました。



市民課と高梁地域まちづくり推進委員会からの聞き取り

地域振興基金事業の概要と 各地域まちづくり協議会の取り組み状況について

管内行政視察 市民生活委員会

令和4年5月18日、市民生活委員会は管内行政視察を行いました。本市では新型コロナウイルス感染症まん延の影響で様々な事業や行事が中止、延期や規模縮小を余儀なくされてきました。市内各地域のまちづくり協議会も同様であることから、各地域の状況を視察しました。

各地域のまちづくり事業の財源は地域振興基金です。合併当初は27億9千万円ありましたが、これまでどのような事業に使われてきたのかということや、「高梁市地域振興基金条例」にある「住民による自主的主体的なまちづくり活動事業等を推進」することができたのかということ、各地域のまちづくり協議会長や担当者から直接伺いました。

地域振興基金事業の概要

地域振興基金は「高梁市地域振興基金条例」に基づくもので、①新市の一体感の醸成に資する事業（新しい文化創造に関する事業等）、②旧市町単位の地域振興（地域行事・コミュニティ助成、伝統文化の伝承など）の目的で、平成16年の合併を契機に、合併特例債を原資として設置した基金です。最初は27億9千万円でスタートし、18億6千万円が各まちづくり協議会への交付金に充てられることになりました。

ちなみに、合併特例債の償還（起債によって借りたお金の返済）は令和4年4月をもって終了しています。

平成17年度からしばらくは年間約1億円の事業執行が行われていましたが、令和元年の新型コロナウイルス感染症が蔓延する直前では約5600

万円、新型コロナウイルス感染症蔓延以降の令和2年度、令和3年度は約3千万円の事業執行となりました。

平成27年度には、将来的に基金が枯渇する恐れがあることから、一般会計から1億6千万円を繰り入れ、また、①地域コミュニティに対する住民自治活動を平成26年度ベースで20年間継続すること、②地域の創意と工夫、判断と責任による時代に即した事業活動の展開を促進するため、地域活力創造事業枠として各地域まちづくり協議会に一律1億円を配分することとしました。

なお、地域振興基金残高は令和3年度末で約7億7千万円となっています。

各地域まちづくり協議会の 取り組み状況

各地域まちづくり協議会の聞き取りに当たっては、市街地を中心とした高梁地域まちづくり推進委員会と有漢、成羽、川上、備中の各まちづくり協議会を訪問しました。どのまちづくり協議会も安心安全のための活動、環境美化活動、地域活性化のためのイベント活動などを行っていました。さらに、基金が目減りしていること、活動の担い手不足や高齢化に直面し、事業の見直しが少しずつ進んでいることが分かりました。特に人口減少に対して、まちづくり協議会が空き家調査に乗り出し、積極的な支援をしている地域、生活に密着した生活道の確保や避難訓練等防災の活動にとりこんでいる地域もありました。

今回の視察で、イベント中心から地域課題解決に取り組む地域の意識の変化と行動を学びました。



落合小学校での授業を視察

GIGA スクールの進捗を確認 管内行政視察 総務文教委員会

令和4年5月26日、高梁市立落合小学校にてGIGAスクール、一人一台端末の授業の状況と取り組みについて視察を行いました。中山間地域のため小規模校の多い高梁市ですが、小中学校におけるICTの活用は県内トップクラス、毎日の授業で端末機器を使った授業が行われています。

授業を見学するにあたり、小学校からは校長先生より動画による説明を受けました。当日はGIGAスクールサポートの横山弘毅さんが参加してくださり現状と課題についても丁寧な説明を受けることができました。「高梁市は小規模校が多くマイナスのイメージが強いのだが、その特色を生かして端末を生徒全員に持たせることができたし、回線整備も進んだ。現在は市内の学校同士や市外の様々な団体とつ

ながつての授業も行っている。」と語られたのが印象的でした。

社会の授業見学では、生徒一人一人が端末を使いこなし、電子黒板で個人の意見を共有し、小グループによる話し合いも活発に行われていました。高梁市の教師に対して行ったアンケートではICTの活用によつて子どもの意欲・積極性が高まると回答した数字が96.2%もありますが、その数字を裏付けるように、子どもたちが積極的に授業に取り組ん



授業風景

でいた様子を目の当たりにしました。

授業見学の後には、特別な支援を必要とする子どもへの対応、GIGAスクールによる先生の負荷、教育ソフトベンッセのミライシードの内容、ノートとパソコンの比重、端末のフィリタリング、行政面からのサポート要望などについて質疑応答と意見交換がありました。

今回の視察は、中山間地域の教育において大きな可能性を感じた管内行政視察になりました。



GIGA スクールの研究説明

一般質問を聞きました！

伊藤泰樹	3回目新型コロナワクチン接種の現状と対策について 高梁国際ホテルについて 消防資機材等の拡充について 観光について 落合地域の都市基盤整備について 高梁認定こども園について	小林重樹	マイナンバーカードとデジタル・未来戦略課について 高梁市における環境施策と取組について
金尾恭士	新消防庁舎・高梁認定こども園の建設について 高梁市総合計画・第3次高梁市教育振興基本計画について 川上医療センターの指定管理について 落合幼稚園について デジタル教科書について 学校園の給食について 高梁市地域防災計画について ヤングケアラーについて	宮田好夫	物価高騰による影響について 町内会について
平松久幸	旧吹屋小学校と観光について 城下町について 防災対策について 公共工事の資材高騰と工期について	川上博司	学校給食について 認知症対策について
森 和之	伯備線沿線の鉄道撮影者について スポーツを通じた青少年の育成について 移住・定住について 雨季に備えての災害対策について	川上修一	地方創生臨時交付金について 立地適正化計画について
		三村靖行	農村生活改善センターについて 高梁国際ホテルについて
		倉野嗣雄	防災ラジオの運用について 経済対策について
		石田芳生	経済対策について 公共施設の管理について 新消防庁舎について 今後の公共工事について
		石部 誠	イベント中止などの市財政への影響について 地方創生臨時交付金の使い方と物価高騰対策について 公営住宅入居者へのコロナ支援金について
		森上昌生	高梁市の観光の現状と将来戦略について 旧吹屋小学校の活用について

伊藤 泰樹 議員
高梁国際ホテルについて
副市長 ホテル側は7月を目途に
アクションプランの提出を決定さ
れたので、市としては、経営計画
書と併せて検証、評価して、判
断するための相談・協議の機会を、
議会、市民に対して設けさせて頂
きたい。

観光地のトイレ整備について

伊藤 泰樹 議員
高梁国際ホテルについて
副市長 ホテル側は7月を目途に
アクションプランの提出を決定さ
れたので、市としては、経営計画
書と併せて検証、評価して、判
断するための相談・協議の機会を、
議会、市民に対して設けさせて頂
きたい。



夫婦岩

落合地域都市基盤整備について

伊藤 泰樹 議員
高梁国際ホテルについて
副市長 ホテル側は7月を目途に
アクションプランの提出を決定さ
れたので、市としては、経営計画
書と併せて検証、評価して、判
断するための相談・協議の機会を、
議会、市民に対して設けさせて頂
きたい。

土末部長 市道の拡幅改良は、現
在のところ整備は困難である。

伊藤 泰樹 議員
高梁国際ホテルについて
副市長 ホテル側は7月を目途に
アクションプランの提出を決定さ
れたので、市としては、経営計画
書と併せて検証、評価して、判
断するための相談・協議の機会を、
議会、市民に対して設けさせて頂
きたい。

必要な施設は建てるべきだが
必要以上の施設はいらない



高梁市議会 YouTube 公式チャンネル開設しました



高梁市議会 YouTube チャンネル



YouTube を視聴する際の注意点

視聴には大量のデータ(パケット)通信を行
うため、携帯・通信キャリア各社にて通
信料が発生します。スマートフォンやタブ
レットでご視聴の場合は、wi-fi環境で
のご利用を推奨します。

高梁市議会では、議会活
動の動画を配信することによ
り、市民の皆さんが議会を
より身近に感じてもらえるよ
うに、公式ユーチューブチャ
ンネルを開設しました。
この議会日より、一
般質問のページにQRコード
を添えています。
このコードを、スマート
フォンのカメラやQRコード
リーダーで読み込むことで、
各議員の一般質問を視聴する
ことができます。

現在、定例会の一般質問
と議案質疑の模様は吉備ケ
ーブルテレビにて録画中継さ
れていますが、放送期間が過
ぎると視聴できませんでし
た。見逃した方にも視聴して
いただけるように、このたび
高梁市議会ユーチューブチャ
ンネルを開設し、6月定例会
の一般質問の内容を配信させ
ていただきました。
今後は、市議会からの情
報発信も行っていきたいと考
えていますので、ご視聴のほ
どよろしく願いいたしま
す。
議会ICT化推進特別委員会
委員長 川上博司

いっしょに



チャンネル登録
よろしくお願いします！



高梁市西部地区の医療の今後は？

金尾 恭士 議員



川上医療センター・ひだまり苑の指定管理について

金尾 具体的にどのように変わるのか。また、市民に影響はないのか。

健康福祉部長 サービス提供は指定管理者、財政運営は市という新しい方式の指定管理への移行と成羽病院の付属とする2点の変更点。財政運営のみの移管なので、市民には影響はない。

金尾 現在の指定管理期間は令和6年8月末で満了。年度途中での変更で支障はないのか。

健康福祉部長 年度区切りに変更して、令和5年4月から期間を5年間とする案で調整を進めている。

新消防庁舎・高梁こども園の建設について

金尾 建築予算が当初と比べて、約1・5倍から1・6倍以上にも

増大している。徹底した見直し等、具体的に精査していただきたい。

総務部長 合併特例債の活用を想定。中期財政見通しのローリングを秋ごろまでに行っていく。国庫補助金増額の要望、合併特例債の再々延長の要望を行っている。

島根原発原子力災害の広域避難計画について

金尾 島根原発「原子力災害時における広域避難に係る避難経路・避難所運営マニュアル」はできていないのか。広島県は100%、岡山県は高梁市を除き全市町村作成済み。

政策監 年内の作成を目指している。作成が完了次第、公表したい。

森 和之 議員

攻めの姿勢で空き家の活用を



移住・定住について

森 市街地において、空き家（好物件）の提供が進んでいないと感じている。担当課の職員が、現地で空き家の状況を把握して、空き家の持ち主にアプローチするなど攻めの姿勢が必要ではないか。

市民生活部長 独自の調査は行っていない。各地域に居住する職員や地域の人からの情報提供、情報収集に努めている。

森 住もうよ高梁推進課の職員数減と職員異動が多いのも問題だと思っがどうか。

副市長 職員が減ったのは事実であるが、少しまだ工夫が足りないと感じている。職員数にある程度制限をかける中で、地域別担当職員を含めて一人二役、三役という考えを持つ必要がある。

森リフォーム補助は単年でなく

市民生活部長 まずは担当課に相談してほしい。空き家の入居者が困らないよう考えていきたい。

伯備線沿線の鉄道撮影者について

森 混雑を予測して駐車場を用意するなどの事前準備をしていたが問題はなかったのか。

市長 生活道への路上駐車、ゴミのポイ捨て、トイレを借りるために民家へお邪魔するなどの事案があったと承知している。

森 駐車場とトイレが一番の問題だと思っが、どう考えているか。

市長 川面地域市民センターにも協力を願うトイレを開放する。また、備中川面駅の閉鎖されたトイレはJRRと協議をしていく。

吹屋だけでなく城下町を重要伝統的建造物群保存地区に

平松 久幸 議員



本町の町並みについて

平松 本町など歴史的風情が色濃く残る通りに対して、町並みの保存整備を進めているが、その成果をどうとらえているのか。

市長 本町の町並み保存整備は平成10年から進めている。平成5年に東京芸術大学前野教授が町並みを調査し、その結果をもとに町並み保存整備事業をスタートした。

昨年2月に「高梁の歴史的風致を考える会」や「NPO法人倉敷町家トラスト」の皆さんが行った調査結果では、本町、下町、南町あたりで20%から50%位は昔の建屋が残っている。成果としては、すっかり残っていると評価している。

平松 歴史的景観維持の面や、防災面からも無電柱化を進められないか。

市長 歴史まちづくり計画でも本町

筋、紺屋川筋の無電柱化を掲げていた。平成22年の同計画策定当時は無電柱化のための共同溝の設置などハードルが高かった。現在は「全国無電柱化を促進する首長の会」に所属しており、電気通信事業者の理解を得た上で、事業費が安価に済む形で整備できる方向が示されている。

平松 本町筋は国の重要伝統的建造物群保存地区に申請できないか。

市長 重伝建は、文化財保護法に規定があり、周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的建造物群で価値の高いものと想定されている。重伝建はステータスシンボルとして、住まわれる方にとっても誇りになると思う。地域の方の理解を得ながら取り組みたい。

環境施策と取組について

小林 脱炭素は世界的に取り組まれている。高梁市においても脱炭素の取り組みが必要と思われるが、具体的にどのように進めていくのか。

政策監 公共施設の新築、増改築や設備更新の際に省エネルギー設備を積極的に導入するとともに、太陽光発電設備等、再生可能エネルギー設備を公共施設や市の所有地に導入していきたい。またごみ処理に伴う温室効果ガスを抑制するため、ごみのリデュース、リユース、リサイクルのさらなる推進を図りたい。森林資源においても、温室効果ガスの吸収源になることから適正な取り組みを推進していきたい。

小林 重樹 議員

ゼロカーボンシティ宣言を

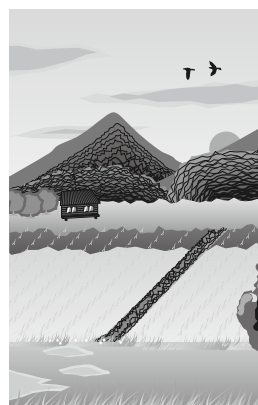


小林 新たに進めて行く第2次高梁市環境基本計画について、市長はどう取り組むのか。

市長 今、電力危機と言われている。一人一人が省エネの意識を持つことが大事で、皆様方と取り組んでいきたい。市役所も率先して取り組んでいく中で、再生可能エネルギーとして、太陽光発電を、公共施設のみならず川のしゅんせつ残土置場等を活用できないか検討している。

小林 県内では多くの市町村が脱炭素社会の実現を目指す宣言をしているが、本市は宣言をしていない。本市においても、第2次環境基本計画が策定できたことも踏まえて、宣言してはどうか。

市長 「高梁市ゼロカーボンシティ」を宣言する。



川上 コメ農家に対して、他市は
何らかの形で支援をしているが、本市はなぜ支援しないのか。
政策監 国の収入保険制度があること、コメ農家のみの支援は農業者の理解が得られにくいことなどから、コメ農家への支援は行わなかった。しかし、臨時交付金を活用して、新型コロナウイルスの影響に加え、物価高騰等の影響を受けている農業者に対し、補正予算により700万円の支援金を交付したいと考えている。

川上 修一 議員

地方創生臨時交付金について

苗代金など
コメ農家に手厚い支援を



川上 このような予算では、コメ農家にはほとんど支援が届かないのでは。もっと幅広い支援はできないのか。また、他の自治体では、コメ農家等、本当に苦しんでいる方への支援が届くように考えられているが、できないのか。
政策監 コメ農家が苦しいのは分かっているが、トマト、切り花等の農家も経営が悪化している中で、他の市町村のようにコメ農家だけに幅広い支援を行うというようなことは考えていない。
川上 例えば苗代金などの補助は、全体の耕作者への支援になる。一人でも多くの方に支援が行われるようにお願いしたい。

宮田 好夫 議員

人口減少と町内会の負担軽減について

過疎化・高齢化における
町内活動について



宮田 市民から「町内会が高齢化し特定の人に負担がかかっている。何とかならないか」という相談があったが、10人未満の町内会はいくつあるのか。
市民生活部長 小規模な町内会が増加していて691町内会のうち283町内会で、全体の4割を超えている。役員選出の苦労や、特定の方の負担になっている実態も聞いている。
宮田 町内会長の方には、広報紙の配布、行事の連絡と集約、会費の集金などの任務もあるが、困難な状況にある方もある。負担軽減を考えるべきではないか。
市民生活部長 市や各種団体から町内へ要請する配布物となるべく

まとめるなど工夫をしたい。また各種委員について人員の見直しも考えてみたい。町内活動については少しでも負担感が減らせるよう検討してみたい。
宮田 従来行ってきた市道の草刈りや溝掃除もできにくくなっている。市として対応を考えるべきではないか。
副市長 市道の延長が1500kmを超えるなかで、町内会に維持・管理をお願いしている。ここ3年間の町内会から報告されている草刈り等の実績は、320町内会760kmでほぼ変わっていない。今後、どうしても地元で維持管理が難しくなった所は対応を考えていきたい。

川上 博司 議員

認知症対策について

小学校、中学校で
認知症の人を含む
高齢者への理解の推進を
図るべきではないか



川上 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の中の大きな柱が、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進である。認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）では認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、様々な場面で活躍してもらうことに重点を置くこととなっている。
以前、地域のある福祉委員さんが認知症サポーターになって地域の認知症の方を支援していきたいと養成講座を受講しようとしたが、グループや団体で申し込むことが前提になっていたので断念された経緯がある。本市の認知症サポーター養成講座はどのようなになっているのか。
健康福祉部長 本市では平成20年

度から地域、職場、学校、各種団体に対して認知症サポーター養成講座を実施している。
今までは団体やグループからの申し込みにより講師を派遣する形で実施していたため、個人の希望による受講には対応できてなかったが、昨年度から一般募集による講座も開催しているので、しっかりと周知して幅広く受講機会を設けていきたい。
川上 学校教育等における認知症の人を含む高齢者への理解の推進を図る意味で、小学校、中学校で認知症サポーター養成講座のような教育を行うことができないか。
教育長 小中学校の総合的な学習の時間や中学校の家庭科の授業の中で地域や施設を回って高齢者と触れ合う体験型学習を実施し、理解を深めるようにしている。

三村 靖行 議員

農村生活改善センターについて

農村生活改善センターの今後は



三村 利用者の減少と地域住民の高齢化で、地域での維持管理が難しくなってきた。どう考えるか。
市長 他の同様施設も含めて、地域の方と対話し検討を行う。
三村 トイレの水洗化と水道代の減免はできないか。
市長 公共施設全体の見直しや、今後の施設活用の見直しにより継続する施設については、水洗化も必要だと考える。
高梁国際ホテルについて
三村 今年の2月で20年間の賃借契約満了を迎えたが、利益のない期が4期ほどある。この要因は何か。また、市は順調に運営できていると考えるか。

産業経済部長（東日本大震災、平成30年豪雨災害、婚礼や宴会等の減少、老朽化による施設の修繕などが要因と考えられる。経営に尽力されていると認識しているが、ホテル側が市に支払った賃貸料は、減価償却費にも達していない。経営が順調に進んでいるとは言い切れないと考えている。
三村 いつ頃契約更新し、今後の運営形態はどのようなものか。
副市長 大規模改修の時期に来ているが、市民負担を最小に抑えるためには、行政財産に移して外部資金を獲得することが必要。管理運営については指定管理者制度も一つの方法と考えている。完成する経営計画等をもって、市民、議員、関係者の皆さんからも判断いただく場を設けたい。

倉野 嗣雄 議員

防災ラジオの運用について

倉野 有漢町では、以前は防災行政無線で出産や慶弔の情報を得る事ができたが、防災ラジオに代わった後、地域局の人が減り、やめられた。コロナ禍で家族葬が増え、情報が得にくい。慶弔のみでも放送してほしい。

市長 旧高梁市では慶弔を広報紙に1か月遅れで掲載していたが、慶弔欄を廃止した経緯がある。慶弔放送を了解された情報については放送として流している。しかし、慶弔放送の要望があれば真摯に受け止め、本来の趣旨も踏まえ、活用を検討したい。

倉野 地方創生臨時交付金は、なぜ一律商品券3000円になったのか。高梁市が少しでも足すことはできなかったのか。

議会と執行部は
両輪であるべき
あらかじめ丁寧な
説明を求める



総務部長 国の一次補正による新

型コロナウィルス感染症対応地方創生交付金が高梁市に1億7000万円の配分があり、このうち1億3000万円を活用し、6月議会において物価高騰の対策に関し、生活困窮者支援、子育て世帯支援、農業者、運送業者等の中小企業等の支援に対して盛り込んだ。

倉野 6月議会直前、5月に全員協議会があった。その時にこのような補正案等、説明があればこのような質問はしない。先に新聞報道等でこの交付金の記事が載ったのでは議員として情けない。

市長 議員の発言は真摯に受け止めている。今後も、いろいろな意見を頂き論議をさせていただく。

石部 誠 議員

物価高騰対策を求める

石部 年金の切り下げ、異常な円安で低賃金、教育費も高過ぎる。非正規雇用が増大し、市民の暮らしは大変な状況である。4月の消費者物価は2・5%の上昇で、水道光熱費や食料品などの生活必需品は4・8%とさらに値上がり。そんな時に新型コロナによる中国の貿易問題や、ロシアのウクライナ侵攻などが市民生活を直撃した。市に対して次の事を求める。

- ・学校給食費の負担軽減を
- ・農畜産業者の燃料や飼料補助を
- ・生活困窮者の光熱費補助を
- ・ひとり親家庭の支援拡大を

総務部長 臨時交付金の物価高騰対応分の1億7千万円のうち約1億3千万円を活用して、コロナ禍における原油価格、物価高騰に対

物価高騰対策は
市民の立場で



応する補正予算を提案している。

内容は、生活困窮者支援、学校給食費の軽減など子育て世帯支援。また農業者、運送業者等の中小企業等への支援を盛り込んだ。

石部 9月からの本格的物価高騰の対応や、制度には「利用できない」「できない」の境界線があるが、市民の立場に立つての運用を求める。

国の判断に沿った対応を

石部 公営住宅入居者が、新型コロナ関連の支援金を受給した場合に所得算定され家賃が上がる事がある。国は一時的収入として家賃算定外とすることが自治体の判断であるとしている。高梁市も算定から外すべきではないか。

土木部長 従来の所得税法に準じて行い除外しない。

石田 芳生 議員

経済対策について

石田 長引く経済低迷や原油や原材料価格が高騰したことにより市内団体より要望書が提出されたがどのように対応するのか。

産業経済部長 運輸業を支援するための中小企業等特定事業継続支援金事業、市民生活の応援、市内消費喚起事業として地域活性化^{かひ}×^{せい}梁商品券事業、商工団体支援として専門家派遣事業を行う。

石田 運輸業の枠にとらわれず、原油や原材料価格高騰による経費負担増となっている市民や業者に対する支援に取り組むべき。

産業経済部長 国の施策の動向や財源を勘案しながら、基礎自治体としてできることを検討する。

直近の大型事業だけでなく長寿命化計画を織り込んだ中期財政見通しをすべき



今後の財政見通しについて

石田 長寿命化計画により、全公共施設の床面積の44%を占める学校教育施設や公営住宅について、個々の校舎や住宅について、今後廃止するものや改良や長寿命化のための工事が必要となるものが示された。新消防庁舎や高梁認定こども園等だけではなく、このことも中期財政計画に織り込むべきではないのか。

市長 改築や長寿命化工事は計画性をもって取り組まなければならない。ぼんやりとした計画では中期財政計画には載せることができないが、具現化してくれば将来推計が確かなものになってくる。

森上 昌生 議員

今年のG・Wの観光状況は

森上 コロナ禍の影響も予想を下回り、高梁の観光状況は昨年と比べ好転していると聞くが、詳しい状況はどのようなものか。

産業経済部長 ゴールデンウィーク期間中10日間の観光来客数は備中松山城が6265人、旧吹屋小学校が3983人となっているが、備中松山城は昨年度に比べると2倍の来場者だが、令和元年度と比べるとまだ半数程度にとどまっている。正確な調査はしていないが来訪者は県外ナンバーが多く見られ、年齢層も押しなべて来られている印象であった。

森上 観光客の観光に対する要望等を調査しているのか。

産業経済部長 現段階では調査まではしていないが、本年度予算で

高梁市の観光戦略について



観光消費額算出等の調査を計画している。

森上 高梁の観光で観光客がマイナスに感じている部分は何か。

産業経済部長 物販・飲食・宿泊に関して全般的に不足していると感じる。また今回、吹屋観光では駐車場から観光施設までの距離が遠いという意見が聞かれた。

旧吹屋小学校の利用について

森上 現在吹屋には若い世代の方が移住されてきているので、旧吹屋小学校を学童保育の場として活用できないのか。

産業経済部長 旧吹屋小学校条例を設けており、観光施設としてスタートしたばかりなので、先ずは経済活動に資する活用をしていきたい。

9月の定例会スケジュール

9/2	金	本会議（議案の上げ）
8	木	本会議（一般質問）
9	金	本会議（一般質問）
12	月	本会議（一般質問）
13	火	本会議（議案質疑）
14	水	委員会
15	木	委員会
16	金	委員会
22	木	本会議（採決）

※9月定例会への請願・陳情の締め切りは8月25日（木）までです

※日程は変更となる場合があります。

正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**



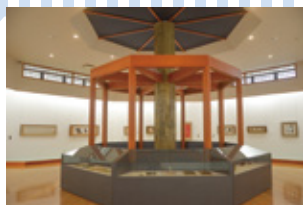
公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

お詫び

議会だより第50号2ページの予算合計額は約54億5千万円としておりましたが、正しくは約54億5百万円の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集

議会広報公聴特別委員会
委員長 伊藤泰樹
副委員長 森 和之
委員 石部 誠
委員 石田 芳生
委員 石井 聡美
委員 金尾 恭士
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸



新 高梁人名録

かわかみ けいねん
川上 景年氏

今回は高梁市名誉市民で、書道家の川上景年先生を紹介いたします。本名は川上正^{まさし}。明治36年（1903）備中町東油野に生まれ、18歳で上京。吉田景道に師事し、書の道に入りました。中国唐代の書家、顔真卿^{がんしんけい}の研究者としても有名で、昭和8年（1933）には大道書学院を開設。門下生には政財界で著名な方が多数います。他方では玉川学園、玉川大学の講師から助教授として教授として40年の長きにわたり、後進の指導に当たりました。

日々研鑽を積む中で、中国、ベルギーとも交流。書道文化の紹介に努め、両国の各地で展覧会や講演会を開催しました。藍綬褒章、文部大臣賞をはじめ海外からも表彰されています。平成15年（2003）に99歳で逝去されています。翌年の遺作展まで38年間の長きにわたり毎年、東京セントラル美術館で作品展が開催されました。



川上先生を顕彰し、その作品を末永く保存、公開するために平成9年（1997）に高梁市備中町に「景年記念館」が開館しました。約700点に及ぶ書作品と遺愛品の数々を収蔵しています。記念館では、随時展示替えを行い、膨大な収蔵作品の中から約20点の作品を公開しています。来館の際は開館日をご確認ください。（社会教育課 TEL 21-1516）

今号の表紙

松原小学校の5、6年生の児童が議場を見学しました

今年の梅雨明けは統計上最速で6月中では初めて、14日間の期間も最短となりました。この議会だよりの編集はまだ6月ですが、真夏の暑さが続いています。この度、高梁市に匿名の方から8000万円のご寄付を頂きました。「高梁市愛辰（あいしん）こども基金」は寄付者から高梁市の子どもたちのために役立たせてほしいとの意向で、日々こつこつと貯められたであろう御厚志です。このような大変な時期に、このようなお気持ちを持った市民の方がいらつしやることを誇りに思うとともに、改めて大切にに使わせていただきたいと思います。（平松久幸）

あどがき